

介護生産性リーダー養成研修

受講無料

高齢化の進展に伴い、介護現場では業務効率化や職員の負担軽減、サービスの質の向上がこれまで以上に求められています。介護テクノロジーの活用には、現場の中心となるリーダー人材の育成が不可欠です。

本研修では、導入事例の紹介や介護テクノロジー等を用いた実践的な学習を通じ、知識とスキルを習得していただきます。

◆実施形式と定員:①会場での受講(各コース定員30名) ②オンライン受講(定員上限なし)

◆日程とカリキュラム

共通テーマ:介護現場における「生産性の向上」とは

実施日: 10月21日(火) 時 間: 13:30~16:30(3時間)

<カリキュラム>

内 容

- | | |
|---|---|
| 1. 生産性向上とは何か
介護現場に生産性向上が必要な背景
手段としての介護テクノロジーの有効性
介護テクノロジー利用の重点分野
テクノロジー機器の特徴と導入検討の注意点 | 2. 生産性向上プロジェクトの進め方
介護生産性の向上とは ~業務改善の7つの視点~
生産性向上プロジェクトの基本的な工程
進め方のポイント |
| 3. 事例から学ぶ生産性の向上 | |

※1日目はロボット活用コース・データ活用コース合同で実施

ロボット活用コース(定員30名)

データ活用コース(定員30名)

I. ノーリフティング

I. 見守りセンサー

実施日: 11月11日(火)

時 間: 13:30~16:30(3時間)

<カリキュラム>

実施日: 11月25日(火)

時 間: 13:30~16:30(3時間)

<カリキュラム>

内 容

内 容

- ・ノーリフティングと生産性向上
ノーリフティングの目的
介護現場における腰痛の現状
生産性向上推進に関連して
ノーリフティングの普及・定着・維持のために
- ・実技
機器を使用したノーリフティングの実践

- ・見守り支援機器導入のポイント
導入目的の明確化と目標設定
解決したい課題とセンサーの種類
将来的なビジョン
導入初期の注意点
- ・見守り支援機器紹介

II. 移乗支援機器

II. 介護記録システム

実施日: 12月2日(火)

時 間: 13:30~16:30(3時間)

<カリキュラム>

実施日: 12月9日(火)

時 間: 13:30~16:30(3時間)

<カリキュラム>

内 容

内 容

- ・移動/移乗支援機器導入のポイント
導入目的の明確化と目標設定
自立支援とのバランス
メリットとデメリット
利用者軸で考えることの重要性
- ・移動/移乗支援機器紹介

- ・介護業務支援機器(システム)導入のポイント
導入目的の明確化と目標設定
メリットとデメリット
法人全体含めた既存のシステム環境の確認
ビジョンとシステム化の範囲
その他の有用なシステム
- ・介護業務支援機器紹介

注意事項

- ・本研修は、会場での受講とオンライン（Zoom）での受講のいずれかをお選びいただけます。
- ・会場での受講は、1事業所につき1名様までとさせていただきます（先着順）。定員に達した場合は、オンラインでの受講をご案内いたします。
- ・各コースともに3日間、全日程を通しての受講が必須となっております。1日のみや、部分的な受講はできません。
- ・お申し込み後の受講方法の変更はお受けできかねますので、あらかじめご了承ください。

申込方法

ながさき介護現場サポートセンターホームページ、もしくは右のQRコードよりお申し込み下さい。

■ホームページからお申込みの際の手順

- ①トップページ「研修・セミナー」のボタンをクリック
- ②研修・セミナー画面の「研修のお申込みはこちら」のボタンをクリック
- ③必要事項を入力する
- ④送信ボタンをクリック



申込期限 9月30日（火）

会場地図

会場：諫早文化会館 2階 展示室②、③（各コース1日目のみ、展示室②、③、④）

〒854-0061 長崎県諫早市宇都町9-2

■JR諫早駅より徒歩約15分

■駐車場あり



お問合せ先

事務局：ながさき介護現場サポートセンター

〒850-0035

長崎県長崎市元船町9-18 長崎BizPORT 2F リージャス長崎BizPORTセンター内

お問合せはホームページよりお願いいたします。

<https://aes-medicalwelfare.com/n-kaigo/>

